

16

平成27年度

足底装具、インソール製作のためのCAD/CAMシステムの導入

義肢・装具・座位保持装置などの受注製作などを行っている同社では、インソールに特化したCAD/CAMシステム「go-tec」を導入した。これにより手作業だったものが自動化されたことで、短納期で高精度のものを製作できるようになり、適合性の高いオーダーインソール製作が可能となった。また、形状をデータとして保存できるようになったことで、再製作も容易になり、生産効率がアップした。

有園義肢株式会社

- | | |
|------------------|---|
| ●代表者／代表取締役 有園 泰弘 | ●業種／その他の製造業 |
| ●設立／昭和44年3月 | ●TEL／0965-33-3983 |
| ●所在地／八代市長田町3300 | ●FAX／0965-32-1492 |
| ●資本金／2,000万円 | ●URL／ http://www.arizono-gishi.com/ |
| ●従業員数／58人 | |

事業課題と申請の経緯 高い適合性のオーダーインソールを短納期で

当社は義肢装具製造はもとより整形靴、座位保持装置の製造、コンフォートシューズ販売、装具関連部材の開発等も行っている。糖尿病の合併症には末梢神経障害があり、これにより足の感覚が低下するなど、足のトラブルが起こりやすい。そのため足の状態に合った靴や装具(フットウェア)を選ぶことが大切である。当社

では重度糖尿病患者のための「早期装着、高い適合性」を実現するオーダーインソールの開発の必要性を感じ、インソール製作に特化したCAD/CAMシステム「go-tec」を導入し、オーダーインソールと既製品装具の組み合わせによる新しい製品の事業化を考えた。



CAD/CAMシステム「go-tec」



オーダーメイドの靴とインソール

課題解決のプロセスと成果 高精度で短納期、さらに再製作も容易に

同システムを導入することで、専用のスキャナーを使って、ユーザーの足底面の形状を計測。採型されたトリッシュャムをスキャンすることができ、これらをコンピューター上に読み取ることが可能になった。手作業だったものが自動化されたことで、短納期で高精度のものを製作できるようになった。また、形状をデータと

して保存できるようになったことで、再製作も容易となった。硬い素材による矯正・軟らかい素材による保護など様々な疾患に対応可能で、素材の厚みだけではなく、前足部・後足部の部分ごとの厚みも調整できるようになった。

今後の展望 治癒経過を観察し、よりよい商品を

医療保険、障害者福祉の現況は会社設立時とは大きく異なり、当社はもとより医療・福祉に関わる者にとって厳しい時代になりつつある。このような中、他社に先駆けた新しい発想の製品・サービスの創出を目標に社員一同努力をしている。今後も周辺環境の変化に対応しながら、身体機能でお困りの方々、またその方たち

を支える関係者のため日々研鑽を重ねている。足を切断せずに治すためのフットケアを基本として、足部に潰瘍等ができた患者を対象に、いくつかの試作を行い、治療効果まで確認するほか、納期や品質等も合わせて他社等と比較しながら、本格的な事業化を目指す。

求める事業パートナーと支援策 将来は、国産のCAD/CAMシステム開発を視野に

今回、導入したCAD/CAMシステムは、コンフォートシューズ先進国のドイツ製である。今後はソフトウェア業界などと協働し、コン

フォートシューズや義肢装具の形状をスキャンしてデータ化できるような国産システムを構築したい。



有園義肢株式会社

身体機能で
お困りの皆様や
そのご家族を支えて
いきたいですね



代表取締役 有園 泰弘氏